平成26年７月11日

各　　位

会 社 名　　JALCO ホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　田辺　順一
（ＪＡＳＤＡＱ・コード 6625）
問合せ先
役　職・氏　名　取締役管理本部長　大浦　隆文
電　話　　050－5536－9824

（再訂正）「平成 25 年３月期 第２四半期決算短信［日本基準］（連結）」の一部再訂正について

平成 26 年 6 月 12 日付で公表いたしました（訂正）「平成 25 年３月期 第２四半期決算短信［日本基準］（連結）」の記載内容の一部に誤りがございましたので、下記のとおり訂正いたします。

なお、平成 26 年６月 30 日付で関東財務局へ提出しております、有価証券報告書及び四半期報告書の訂正報告書には、訂正はございません。

訂正箇所には下線＿ を付して表示しております。

記

１．【訂正理由】

当社の子会社である株式会社ジャルコアミューズメントサービスが、平成 24 年１月から開始した中古遊技機割賦販売事業において取引先による不正が発覚したために、取引開始から発覚までに行った取引の会計処理を取消しました。

当初は、セグメント名は変更せずに訂正決算短信をご提出しましたが、以上のことを鑑み、会計処理の実態に合わせるためにセグメントの名称を「遊技機レンタル・割賦販売事業」から「遊技機レンタル事業」に変更することが必要であるとの判断から名称変更をしたことに伴い、関連する箇所を訂正するものであります。

２．【訂正箇所】

１．当四半期決算に関する定性的情報
（１）連結経営成績に関する定性的情報
（２）連結財政状態に関する定性的情報
①資産、負債及び純資産の状況
（固定資産）
３．継続企業の前提に関する重要事象等
４．四半期連結財務諸表
（６）セグメント情報等
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

２ページ
１．当四半期決算に関する定性的情報
＜訂正前＞
（１）連結経営成績に関する定性的情報
（省略）
セグメントにつきましては、当社グループの事業は、平成 24 年１月に遊技機レンタル・割賦販売事業を新たに開始し、従来の電子機器用部品事業に加え２業態となりました。
（省略）
従いまして、当連結会計年度より、報告セグメントを、「電子機器用部品事業」、「遊技機レンタル・割賦販売事業」の２つの事業の種類別セグメントといたします。
セグメント別の状況は、以下のとおりであります。
（省略）
・遊技機レンタル・割賦販売事業
遊技機レンタル・割賦販売事業におきましては、当第２四半期累計期間において、パチンコホールを対象とした中古遊技機のレンタルを開始するなど取引形態の多様化を図るとともに、取扱高、事業規模の拡大に取り組んでおります。当第２四半期連結累計期間における業績は、売上高 26 百万円、セグメント損失１百万円となりました。
＜訂正後＞
（１）連結経営成績に関する定性的情報
（省略）
セグメントにつきましては、当社グループの事業は、平成 24 年１月に遊技機レンタル事業を新たに開始することを決定し、従来の電子機器用部品事業に加え２業態となりました。
（省略）
従いまして、当連結会計年度より、報告セグメントを、「電子機器用部品事業」、「遊技機レンタル事業」の２つの事業の種類別セグメントといたします。
セグメント別の状況は、以下のとおりであります。
（省略）
・遊技機レンタル事業
遊技機レンタル事業におきましては、当第２四半期累計期間において、パチンコホールを対象とした中古遊技機のレンタルを開始し、事業規模の拡大に取り組んでおります。当第２四半期連結累計期間における業績は、売上高 26 百万円、セグメント損失１百万円となりました。

＜訂正前＞
（２）連結財政状態に関する定性的情報
①資産、負債及び純資産の状況
（固定資産）
当第２四半期連結会計期間末における固定資産残高は５億 60 百万円となり、前連結会計年度末と比較して１億３百万円の増加となりました。これは主に事業譲渡に伴い電子機器用部品事業の固定資産が譲渡されたこと、譲渡対象外の不要になった固定資産を減損処理して減少した反面、譲渡代金の残金を長期未収入金として計上したこと、及び、遊技機レンタル・割賦販売事業においてレンタル用資産を購入したことなどによるものであります。

＜訂正後＞
（２）連結財政状態に関する定性的情報
①資産、負債及び純資産の状況
（固定資産）
当第２四半期連結会計期間末における固定資産残高は５億 60 百万円となり、前連結会計年度末と比較して１億３百万円の増加となりました。これは主に事業譲渡に伴い電子機器用部品事業の固定資産が譲渡されたこと、譲渡対象外の不要になった固定資産を減損処理して減少した反面、譲渡代金の残金を長期未収入金として計上したこと、及び、遊技機レンタル事業においてレンタル用資産を購入したことなどによるものであります。

４ページ
＜訂正前＞
３．継続企業の前提に関する重要事象等
（省略）
今後、電子機器用部品事業におきましては、上記ハイスペックな電子部品の開発、販売活動に加えて、株式会社ジャルコアミューズメントサービスが営む遊技機レンタル・割賦販売事業に関連する、パチンコ、パチスロ分野におけるアミューズメント機器以外の機械・機器の開発・販売に注力していく方針であり、当該事業譲渡によって損失を極小化することに止まらず、平成 25 年３月期第４四半期以降におきましては、当該事業の黒字化を見込んでおります。
一方、遊技機レンタル・割賦販売事業におきましては、販売会社を対象とした中古遊技機の販売に加えて、平成 25 年３月期第２四半期において、パチンコホールを対象とした中古遊技機のレンタルを開始するなど、当社を通しての当該事業に対する資金投下、取引形態の多様化も順調に推移しており、黒字幅の拡大を見込んでおります。
以上により、平成 25 年３月期第３四半期連結会計期間以降、営業利益、営業キャッシュ・フローとも大幅な改善が見込まれるのに加えて、手元資金も十分に確保される見通しであり資金繰りの目処も立っていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載はしないこととといたしました。

＜訂正後＞
３．継続企業の前提に関する重要事象等
（省略）
今後、電子機器用部品事業におきましては、上記ハイスペックな電子部品の開発、販売活動に加えて、株式会社ジャルコアミューズメントサービスが営む事業に関連する、パチンコ、パチスロ分野におけるアミューズメント機器以外の機械・機器の開発・販売に注力していく方針であり、当該事業譲渡によって損失を極小化することに止まらず、平成 25 年３月期第４四半期以降におきましては、当該事業の黒字化を見込んでおります。
一方、遊技機レンタル事業におきましては、パチンコホールを対象とした中古遊技機のレンタルを開始するなど、当社を通しての当該事業に対する資金投下、取引形態の多様化も順調に推移しており、黒字幅の拡大を見込んでおります。
以上により、平成 25 年３月期第３四半期連結会計期間以降、営業利益、営業キャッシュ・フローとも大幅な改善が見込まれるのに加えて、手元資金も十分に確保される見通しであり資金繰りの目処も立っていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載はしないこととといたしました。

10 ページ

4．四半期連結財務諸表

＜訂正前＞

（6）セグメント情報等

当第２四半期連結累計期間（自平成 24 年４月１日　至平成 24 年９月 30 日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額(注) 1	四半期連結損益計算書計上額
	電子機器用部品事業	遊技機レンタル・割賦販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	482,233	26,227	508,461	－	508,461
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	482,233	26,227	508,461	－	508,461
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△131,806	△1,444	△133,251	△73,840	△207,091

（省略）

＜訂正後＞

（6）セグメント情報等

当第２四半期連結累計期間（自平成 24 年４月１日　至平成 24 年９月 30 日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額(注) 1	四半期連結損益計算書計上額
	電子機器用部品事業	遊技機レンタル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	482,233	26,227	508,461	－	508,461
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	482,233	26,227	508,461	－	508,461
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△131,806	△1,444	△133,251	△73,840	△207,091

（省略）